



校長室だより

第 1 〇 号

令和3年6月9日(水)

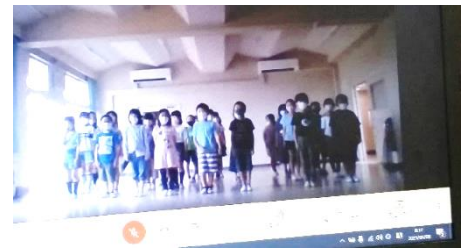
大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

Google Meet を使った音楽朝会

8日(火)の業前にGoogle Meetを使って音楽朝会を行いました。コロナ禍でリモートワークが増えることに伴い、Web会議システムのZOOMはよく耳にします。Google Meetは学校で使えるZOOMのようなものと、捉えていただくと分かるかと思います。全校児童が一堂に会せない状況が続いている中、リモート形態で音楽朝会ができないかと、先生方は考えました。前日に子供たちが下校後、Google Meetを立ち上げて、先生方は準備を進めました。

朝の挨拶の後、2年生が音楽室から「メッセージ」と「BINGO」の2曲を発表しました。子供たちは教室にしながら、映像で発表を見聞することができました。2年生の発表後、3年生と5年生が感想を、画面を通してお話してくれました。



最後に放送室から流したCDと一緒に、全校児童が各クラスで「とどけよう このゆめを」を歌いました。校舎中にすてきな歌声が響き、この歌詞にあるように夢を空の彼方に届けることができたのではないのでしょうか。初めての試みでしたが、大成功でした。このGoogle Meetを使うことで、県内の他の小学校とも交流等ができるかもしれませんね。活用方法に夢が広がります。



GIGAスクール構想によって、一人に一台ずつタブレット端末が整備されました。ここで、令和元年12月に文部科学大臣が発したメッセージの一部を紹介しておきますね。

「(前略)一人一台端末環境は、もはや令和時代における学校の『スタンダード』であり、特別なことではありません。これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育は劇的に変わります。(後略)」

アナログ世代の私にとって、劇的に変わった瞬間の音楽朝会でした。

ところで、前号で校舎の看板のことを話題にしたところ、早速お子さんを通して、情報をいただきました。「すてきな笑顔 毎日みがく歯と心」のスローガンは、当時の児童会で考えたのだそうです。本校児童のあばさん(?)の案が採用されたそうです。そして、公開研究会があるから、看板を設置したとのことでした。文部省(現文部科学省)指定の公開だったので、たくさんの方が来たということも教えてもらいました。私は当時古一小に勤務していましたが、先輩の先生が「沼部小の公開に行くんだ」という話をしていたことをこの話を聞いて、思い出しました。当時本校の小学生だったという、保護者の方からの情報でした。家族で話題にさせていただいてよかったなと思います。情報をいただき、ありがとうございました。